

特集ページ

特集
1

リチウムイオン電池の誤った処分による危険性について

“リチウムイオン電池” 内蔵製品を正しい方法で捨てましょう

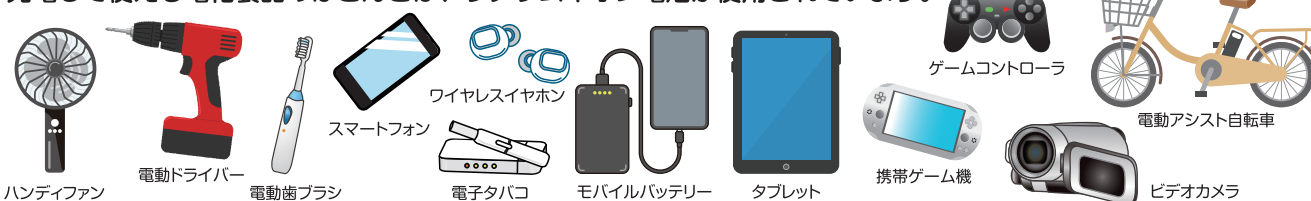
リチウムイオン電池は大容量の電力を蓄え、繰り返し充電して使える便利な電池です。しかし、衝撃や破損によって発火する危険性があるため、正しい方法で廃棄することが重要です。



詳細はこちら

リチウムイオン電池は何に内蔵されている？

充電して使える電化製品のほとんどは、リチウムイオン電池が使用されています。



他のごみに混ぜないで！ リチウムイオン電池は有害ごみです

リチウムイオン電池は月に1回の**有害ごみ**に出してください。必ず電化製品から取り外してください。燃えるごみや燃えないごみ、資源物と混ぜて捨てられると、収集車や処理施設の大規模な火災の原因となります。

電化製品を処分する際は、取扱説明書や製品にリチウムイオン電池のマークがないかご確認ください。



こんな時はどうする？

- リチウムイオン電池が電化製品から取り外せない。
→ 製品ごと**有害ごみ**として出してください。
(袋に「バッテリー内蔵」と張り紙をしてください)
- ポータブル電源を捨てたい。
→ ポータブル電源は市で処理することができません。
(メーカーや販売店にお問い合わせください)(P9参照)

特集
2

生ごみの水を切ってごみの減量をしよう!!

生ごみの成分



一般的に生ごみの約80%が水分と言われています。生ごみの水切りによって得られる**ごみの減量効果**は絶大です!

今日から取り組もう!! 水切りのポイント3つ

- ① 水にぬらさない
- ② 捨てる前に水分をしぼる
- ③ 捨てる前に乾燥させる

家族で取り組む水切り工作!!

市のホームページでは、ご家庭で水切りできる【水切り工作】を紹介しています!

他にもこんないいことがあります!

- CO₂の排出削減につながる
- 嫌な臭いを減らせる
- ごみが軽くなり、日頃のごみ出しが楽になる



詳細はこちら

習志野市ごみの現状 (令和6年度)

ごみ排出量

年間 **49,666トン**

令和5年度は**50,968トン**でした。

ごみ処理経費

年間 **44億8,086万円**

市の歳出の約**5.7%**

にあたります。

※芝園清掃工場の延命化対策事業により経費が高くなっています。

1人あたりの経費

年間 **25,467円**

例えば4人家族の場合、ごみの処理に年間約**10.2万円**の経費がかかっています。



1人あたりのごみ排出量

1日 **773g** (年間 282kg)

家庭ごみ量

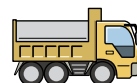
1日 **600g** (年間 219kg)

最終処分量

年間 **1,293トン**

焼却(熔融)後に埋立て処分をするものの量です。

習志野市市内に最終処分場はなく、県外へ運搬し処理をしています。埋立てできる量には限りがあります。



引き続きごみの減量にご協力をお願いします